

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL 0120-094-777(通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	電子公告により行います。 公告掲載URL http://www.daiso.co.jp/ (ただし、やむを得ない事由により電子公告を行うことができない場合、 日本経済新聞に掲載する方法により行います。)

(ご注意)

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)にお問合せください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行全国本支店でお支払いいたします。

単元未満株式をお持ちの株主さまへ

当社は、1単元(1,000株)に満たない当社株式を所有されている株主さまの便宜をはかるため、「単元未満株式の買増・買取制度」を実施しております。お手続きなどの詳細に関しましては、証券会社にて株式を管理されている場合はお取引先の証券会社に、特別口座にて株式を管理されている場合は、三菱UFJ信託銀行にお問合せください。

当社グループをより知っていただくために、ホームページもご活用ください。

- 最新の情報はこちらでご覧いただけます。
ホームページアドレス <http://www.daiso.co.jp/>



トップページ

Something Better with Chemicals



株主のみなさまへ

第160期 中間報告書

平成26年4月1日から平成26年9月30日まで

化学でもっといいこと。



DAISO

ダイソー株式会社

証券コード 4046 <http://www.daiso.co.jp/>



株主のみなさまへ

株主のみなさまには、平素より格別のご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、当社グループでは、第160期中間期(平成26年4月1日から平成26年9月30日まで)の決算を行いましたので、ここに事業の概況をご報告申し上げます。

平成26年12月

代表取締役
社長執行役員

佐藤 存

事業の経過およびその成果

当中間期におけるわが国経済は、緩やかな景気回復基調が続いているものの、消費税率引上げ等にもなう駆け込み需要の反動の影響から一部で回復の動きに足踏みが見られ、先行き不透明な状況で推移しました。

このような環境のもと、当社グループは、クロール・アルカリの国内シェア拡大、エピクロルヒドリンおよび機能化学品のグローバル市場での拡販を推進し、生産面では需要が拡大するダップ樹脂の設備能力増強に着手しました。また、第5次中期経営計画『NEXT

FRONTIER-100』の初年度を迎え、「新製品・新規事業の創出」と「海外事業の拡大」を推進するため「新規事業推進プロジェクトチーム」および「海外事業推進プロジェクトチーム」を発足させ、事業の拡大と強化に取り組みました。さらに、産業構造の変化に対応するため「コスト構造改革プロジェクトチーム」を発足させ、コスト低減による競争力強化を図りました。

以上の結果、当中間期の売上高は、489億1千4百万円と前年同期比9.2%増加しました。

利益面においては、営業利益は、原燃料価格の高騰がありましたが、販売数量が増加したため23億6千

1百万円と前年同期比10.9%の増加、経常利益は、26億4千4百万円と前年同期比12.2%の増加、四半期純利益は、15億7千4百万円と前年同期比19.7%増加しました。

なお、中間配当につきましては、1株当たり4円(前中期3.5円)とさせていただきました。通期では1株当たり8円(前期7円)を予定しております。

通期の見通し

今後の見通しにつきましては、政府による政策効果や雇用および所得環境の改善により、緩やかな景気回復基調が継続するものと期待されますが、米国の量的緩和終了や欧州の財政問題による影響、新興国経済の景気下振れも懸念されます。また、国内におきましても、消費税率引上げにともなう駆け込み需要の反動の長期化も懸念され、当社グループを取り巻く環境は厳しい状況で推移するものと予想されます。

このような情勢のもと、当社グループは、アジア、欧米をはじめとした海外販売体制を一層強化するとともに、生産プロセスの改善やエネルギーの効率的利用など一層のコスト削減に努め、連結売上高1,000億円、連結経常利益57億円の達成に向け、全力で取り組んでまいります。

また、当社グループは、環境・安全と製品の品質の確保につきましても、レスポンス・ケア活動とISO活動を通じて万全を期するとともに、省資源・省エネルギー活動に積極的に取り組み、地球環境と調和した企業の発展を図ってまいります。

さらに、企業の社会的責任を重視し、日々の事業活動において法令遵守に積極的に取り組むとともに、内部統制システムを強化することによりコンプライアンス体制の一層の充実を図り、社会に信頼される企業グループを目指してまいります。

株主のみなさまにおかれましては、今後とも一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

企業理念

1. 私たちは 化学を中心とする事業を通じて より豊かな社会の実現に 貢献します
2. 私たちは 世界に信頼される技術と製品を 創造します
3. 私たちは 情熱と誠意をもって 行動します

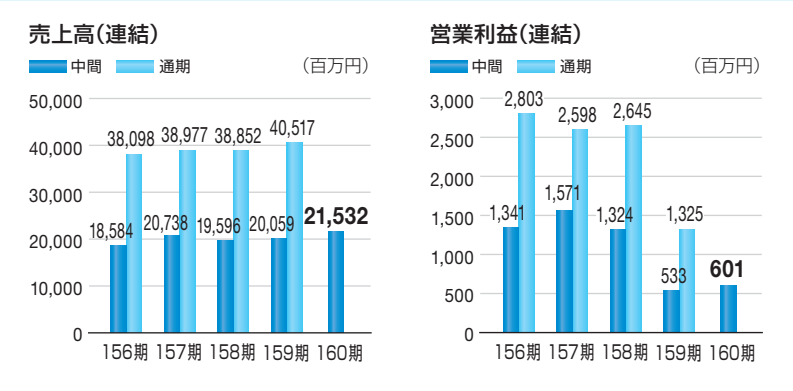
基礎化学品

売上高 215億3千2百万円 7.3%増加

クロール・アルカリは、地域密着型営業の推進による拡販と市況の改善により、売上高が増加しました。

エピクロルヒドリンは、エポキシ樹脂の国内需要が低迷しましたが、輸出が堅調に推移したため、売上高が増加しました。

以上の結果、基礎化学品の売上高は、215億3千2百万円と前期比7.3%の増加となりました。

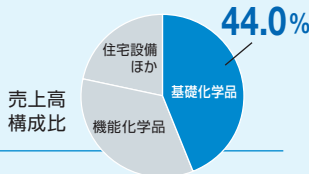
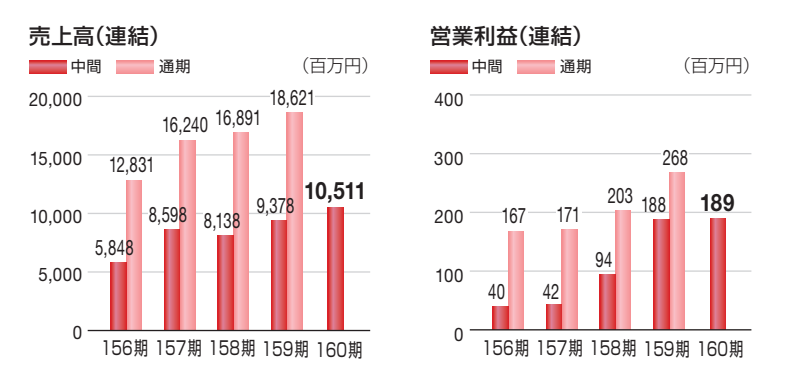


住宅設備ほか

売上高 105億1千1百万円 12.1%増加

消費税率引上げにともなう駆け込み需要の反動の影響がありましたが、生活関連商品の新商品の販売増加や電解設備更新工事等の完成により、売上高が増加しました。

以上の結果、住宅設備ほかの売上高は、105億1千1百万円と前期比12.1%の増加となりました。



機能化学品

売上高 168億7千万円 9.7%増加

アリルエーテル類は、シランカップリング剤用途の欧米向け輸出数量が伸び、売上高が増加しました。

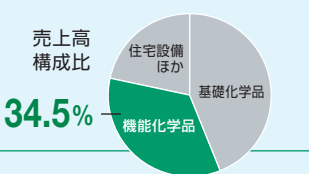
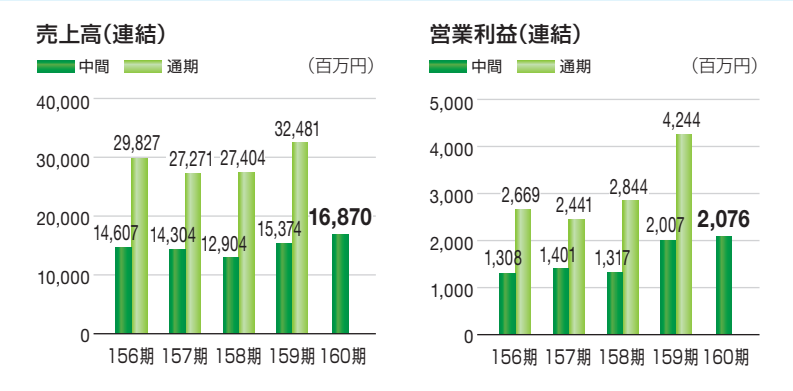
エピクロルヒドリンゴムは、海外での自動車生産台数の増加を背景に輸出が好調に推移し、売上高が増加しました。

ダップ樹脂は、UVインキ用途で中国向け輸出が低調に推移しましたが、欧米向けの輸出が拡大したため、売上高が増加しました。

液体クロマトグラフィー用シリカゲル

は、医薬品精製用途でアジアおよび米国向けの輸出が好調に推移しましたが、欧州向けの輸出で一時的な在庫調整があり、売上高が減少しました。

医薬品原薬・中間体は、抗ウィルス薬中間体や血管拡張剤中間体が低調に推移しましたが、糖尿病治療薬中間体や抗体医薬品原料、血流改善薬原薬等が増加したため、売上高が前年同期並みとなりました。



ダイソーグループのセグメントと主要製品

●セグメント

基礎化学品

機能化学品

住宅設備ほか

●主要製品

基礎化学品: かせいソーダ、塩酸、液化塩素、塩素ガス、次亜塩素酸ソーダ、亜塩素酸ソーダ、塩素酸ソーダ、かせいカリ、水素ガス、エピクロルヒドリン、アリルクロライド、農薬原体、塗料原料、接着剤原料 など

機能化学品: アリルエーテル類、エピクロルヒドリンゴム、ダップ樹脂、省エネタイヤ用改質剤、液体クロマトグラフィー用シリカゲル、レンズ材料、感光性樹脂、カラーレジスト、電極、医薬品原薬・中間体、光学活性体、ガラスファイバー、資源リサイクル など

住宅設備ほか: ダップ加工材、住宅関連製品、健康食品、化学薬品の輸送・貯蔵、化学プラント、環境保全設備建設 など

当社の収益を支える機能化学品

ダイソーの製品はさまざまな生活シーンで活躍していますが、材料や部材として使用されていますので、ダイソーの名前がみなさまの目に触れることはないかもしれません。

今回は長年、現在の当社の収益を支えている機能化学品3製品の優位性、拡大している用途、今後期待される用途展開についてご紹介します。



ダップ樹脂

高い機能性を持ち、幅広い産業分野で活躍する熱硬化性樹脂

■ 当社製品の優位性

原料(アリルクロライド)からモノマーを合成し、さらにポリマーまで自社開発のプロセスで一貫生産しています。

幅広いグレードのポリマーを製造できるノウハウを有し、さまざまな要求物性に対応できます。

■ 拡大している用途

UV硬化インキ

ダップ樹脂の配合により、紙用印刷のオフセットUV硬化インキに速乾性を付与し、高速印刷を可能とします。

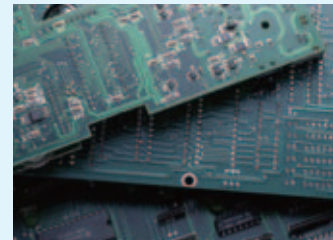
UV硬化インキは揮発性有機化合物を使用しないため、環境にやさしい製品として普及が進んでいます。



食品容器などの印刷



ビジネスフォーム



電子部品



成形材料

■ 今後期待される用途展開

経済産業省が推進する「GNT(グローバルニッチトップ)企業100選」に選定されたダップ樹脂は、UV硬化インキ用途の新たな市場開拓のテーマとして、プラスチックへの密着性改善に注力しています。

またダップ樹脂の高い絶縁特性と耐電圧性が注目され、スマートグリッド(次世代送電網)で使用するスマートメーターの部品にも採用されています。



エピクロルヒドリンゴム

自動車・OA機器部品に
欠かせない特殊合成ゴム

■ 当社製品の優位性

独自技術を用いて主原料のエピクロルヒドリンからポリマーまで一貫生産しています。

原料組成を変えることによって、多様な要求物性に対応できるポリマーを製造できます。

また、低透過燃料ホース用配合などさまざまなコンパウンド技術を開発しています。



エンジンルーム



自動車用燃料系ホース

■ 拡大している用途

自動車

耐熱性、耐油性、低温特性などの物性バランスに優れ、自動車の低透過燃料ホース用途で需要が伸びています。

新興国においても自動車に対する排ガス規制などの環境規制が厳格になっており、市場が拡大しています。

OA機器

半導電特性を精密にコントロールすることによって、マルチファンクションプリンターの帯電・転写・現像ロールへの採用が進んでいます。



マルチファンクションプリンター



プリンター用帯電ロール

■ 今後期待される用途展開

自動車の小型化、低燃費化のニーズは今後も増加し続けます。これにともない、エンジンルーム内の温度環境やゴムホースの使用環境はさらに厳しくなります。

今後も、自動車の高性能化と厳しい環境規制に対応できる新たなポリマーのグレードやコンパウンド技術を開発し、市場開拓に取り組んでいきます。

液体クロマトグラフィー用 シリカゲル

医薬品、機能性食品などの
分析・分取精製用途向け
機能性分離材料

■ 当社製品の優位性

液体クロマトグラフィー用シリカゲルは当社にて原材料から一貫生産しています。たとえば、お客様からのご要望に対応するため、シリカゲルの粒子の大きさを調整するなど物性値をコントロールすることもできます。

修飾型シリカゲルであるダイソーゲルODSシリーズはダイソーゲルSPを基材として当社独自の表面修飾技術を施しており、300種類を超える豊富なラインナップから顧客の目的とする分離に適した分離材料を提案しています。

■ 拡大している用途

医薬品精製

国内外の市場では、糖尿病治療薬をはじめとする、バイオ医薬品の需要が拡大しており、これら医薬品製造にはシリカゲルでの精製を必要とするものが多くあります。



製造建屋(尼崎工場)



作業風景

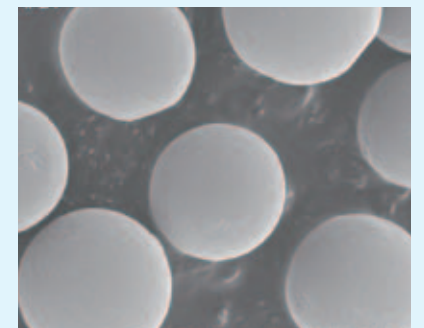
■ 今後期待される用途展開

引き続き、新たなバイオ医薬品の精製用途のグレードの開発に注力します。

他社との差別化として、機械的強度や化学的強度に優れた長期使用可能な分離材料の開発にも取り組んでいます。



ダイソーパック

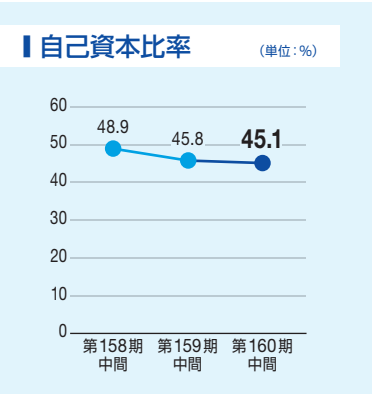
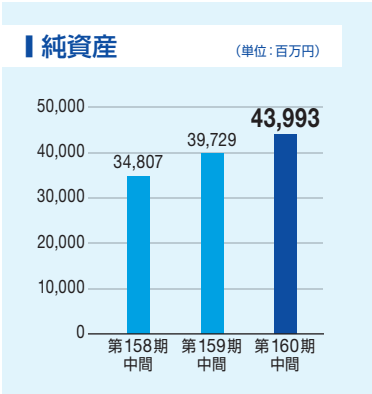
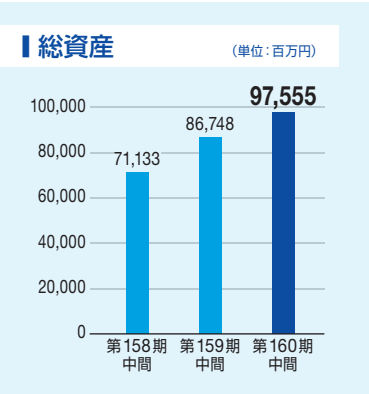


ダイソーゲル<拡大図>

中間連結財務諸表

中間連結貸借対照表(要約)

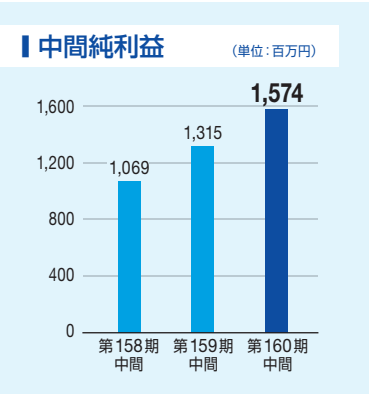
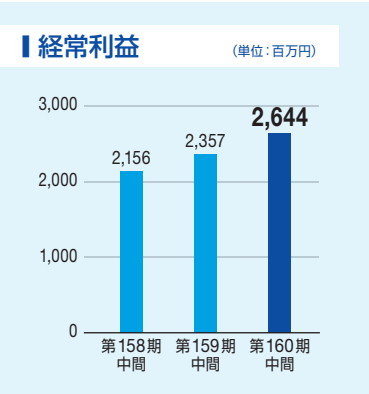
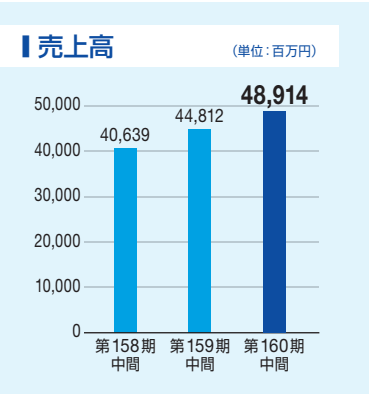
(単位:百万円)			
科 目	前中間連結会計期末 (平成25年9月30日現在)	当中間連結会計期末 (平成26年9月30日現在)	前連結会計年度の 要約連結貸借対照表 (平成26年3月31日現在)
資産の部			
流動資産	49,561	58,107	44,932
固定資産	37,187	39,447	39,394
有形固定資産	21,908	21,855	22,889
無形固定資産	1,233	1,204	1,278
投資その他の資産	14,045	16,387	15,226
資産合計	86,748	97,555	84,326
負債の部			
流動負債	33,971	31,855	30,406
固定負債	13,047	21,706	12,304
負債合計	47,019	53,562	42,710
純資産の部			
株主資本	36,628	39,206	37,971
その他の包括利益累計額	3,087	4,786	3,629
新株予約権	14	—	14
純資産合計	39,729	43,993	41,615
負債純資産合計	86,748	97,555	84,326



中間連結財務諸表

中間連結損益計算書(要約)

(単位:百万円)			
科 目	前中間連結会計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	前連結会計年度の 要約連結損益計算書 (自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日)
売上高	44,812	48,914	91,621
売上原価	37,801	41,427	76,993
売上総利益	7,010	7,486	14,627
販売費及び一般管理費	4,881	5,125	9,876
営業利益	2,129	2,361	4,751
営業外収益	319	426	681
営業外費用	91	143	191
経常利益	2,357	2,644	5,241
特別利益	528	42	909
特別損失	659	192	1,400
税金等調整前中間(当期)純利益	2,225	2,493	4,749
法人税、住民税及び事業税	1,098	706	1,866
法人税等調整額	△187	212	△146
中間(当期)純利益	1,315	1,574	3,029



中間連結キャッシュ・フロー計算書(要約)

科 目	前中間連結会計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	前連結会計年度 (自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,776	1,612	5,177
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,375	△399	△8,336
財務活動によるキャッシュ・フロー	7,095	8,318	5,233
現金及び現金同等物に係る換算差額	43	140	188
現金及び現金同等物の増減額	6,540	9,671	2,262
現金及び現金同等物の期首残高	5,934	8,197	5,934
現金及び現金同等物の中間期末(期末)残高	12,475	17,944	8,197

(単位:百万円)

トピックス 当社格付けがBBB+に格上げ

2014年6月、(株)格付投資情報センター(R&I)による当社格付けが、従前のBBBからBBB+に1段階引き上げられました。これまで当社は50%前後の自己資本比率を保つなど、財務基盤の安定性が認められていたが、今回の見直しでは、ニッチながら高シェアの製品を軸に、安定した収益力、キャッシュ・フロー創出力を維持していることが評価されました。

今回の格上げをひとつの通過点ととらえ、今後さらに高い格付けが付与されるよう努めてまいります。



ニッチながら高シェアの製品群

株式の状況

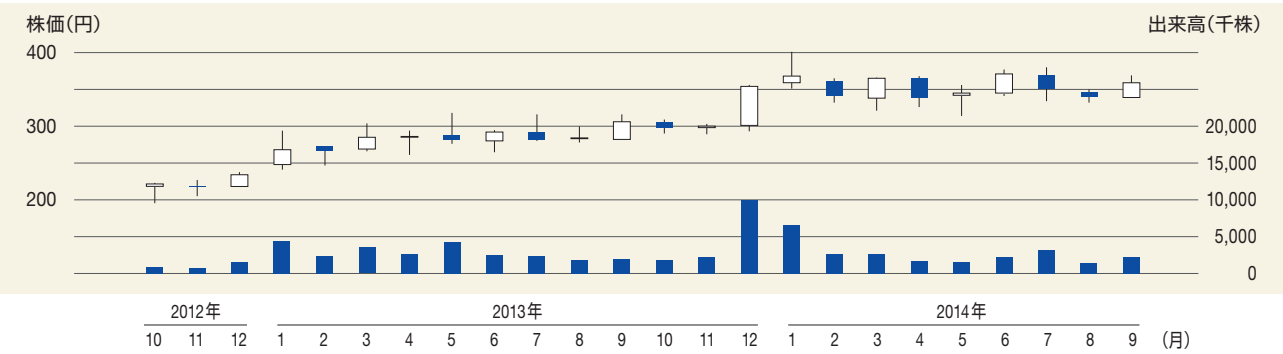
発行可能株式総数 ----- 300,000,000株
発行済株式の総数 ----- 111,771,671株
株主数 ----- 6,675名

大株主一覧(上位10名)

株 主 名	持株数(千株)	出資比率(%)
損害保険ジャパン日本興亜株式会社	4,442	4.21
株式会社三菱東京UFJ銀行	4,384	4.16
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	4,249	4.03
株式会社池田泉州銀行	4,240	4.02
株式会社福岡銀行	4,113	3.90
株式会社伊予銀行	3,744	3.55
帝人株式会社	3,393	3.22
株式会社みずほ銀行	3,348	3.17
日本生命保険相互会社	3,221	3.05
旭化成ケミカルズ株式会社	2,933	2.78

(注)出資比率は、発行済株式の総数から自己株式(6,408,619株)を控除して計算しております。

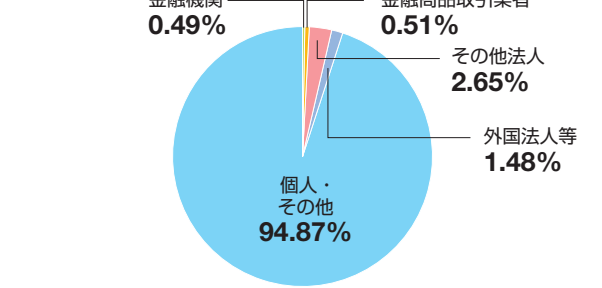
株価および出来高の推移



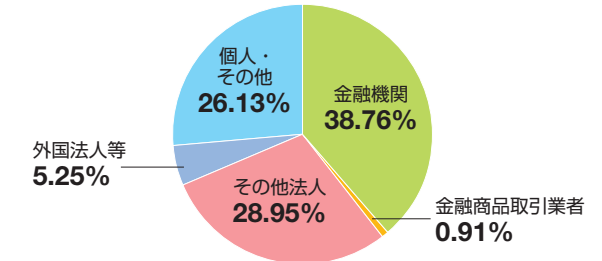
※東証と大証の統合にともない、2013年7月12日までは大証における株価および出来高、7月16日以降は東証における株価および出来高を採用しております。

株主分布状況

株主数比率



株式数比率



(注)「個人・その他」には、当社の自己株としての保有分(5.73%)が含まれております。

会社概要
(平成26年9月30日)

社名

ダイソー株式会社

DAISO CO.,LTD.

URL

http://www.daiso.co.jp/

創立

1915年(大正4年)10月26日

資本金

10,882百万円

連結従業員数

820名

子会社等の状況

国内	
会社名	主要な事業内容
ダイソーケミカル(株)	化学製品の販売
ダイソーエンジニアリング(株)	電極の製造販売、化学設備の設計・施工
サンヨーファイン(株)	医薬品原薬・中間体の製造・販売
(株)インパックス	化学製品の販売
(株)ジェイ・エム・アール	資源リサイクル
DSロジスティクス(株)	化学製品の運送取扱い
岡山化成(株)	化学製品の製造
DSウェルフーズ(株)	健康食品の製造、加工販売
海外	
会社名	主要な事業内容
大曹化工貿易(上海)有限公司	機能化学品・電子材料等の輸出入
台灣大曹化工股份有限公司	機能化学品・電子材料等の輸出入
DAISO Fine Chem USA, Inc.	シリカゲルの販売、カラムの製造販売
DAISO Fine Chem GmbH	シリカゲル、医薬品原薬・中間体の販売
DAISO CHEMICAL (THAILAND) CO.,LTD.	機能化学品・電子材料等の輸出入

役員
(平成26年11月1日)

[取締役・監査役]		
代表取締役社長執行役員	佐藤 存	
取締役専務執行役員	山下 光一	
取締役上席執行役員	鳥井 宗朝	
取締役上席執行役員	堀 登	
取締役上席執行役員	寺田 健志	
取締役上席執行役員	多木 宏行	
常勤監査役	瀬川 恭史	
常勤監査役(社外)	谷口 隆治	
監査役(社外)	福島 功	
監査役(社外)	森 真二	

[執行役員]		
執行役員	竹尾 恒行	
執行役員	小西 淳夫	
執行役員	川端 一弥	
執行役員	中島 与志明	
執行役員	雑賀 哲行	
執行役員	門屋 純一	
執行役員	馬場 一郎	
執行役員	平井 直	
執行役員	赤松 伸一	
執行役員	西本 光伸	
執行役員	松本 敏	
執行役員	森 裕治郎	
執行役員	古川 喜朗	

事業所等の状況
(平成26年9月30日)

